

第51回東北生理談話会

会 期：令和元年11月16日（土）
会 場：東北医科薬科大学医学部研 プラタナスホール（福室キャンパス・研究教育棟3F）
当番幹事：東北医科薬科大学医学部神経科学教室 松坂義哉
演 題 数：16題
参加人数：41名

元号が変わり令和最初の日本生理学会東北地方会（第51回東北生理談話会）を東北医科薬科大学医学部において上記日程で開催いたしました。本学医学部は皆様もご存知の通り、東北地方における医師不足を解消するため三十七年ぶりに新設された医学部です。今回会場となった福室キャンパス研究教育棟は昨年度竣工したばかりで、また真新しい建物と施設をご参加の皆様にはお楽しみいただけたのではないかと思います。そのせいか、昼食時間では参加者の皆様の会話も一層弾んだようです。今年は、イスラム圏からの参加者に配慮し、食事から豚肉を排除するようにいたしました。

さて、肝心の発表のほうですが、弘前大学の先生方による「リンゴ果皮に含まれる Phlorizin/Phloretin の質量分析」と言った地方色豊かな内容から、東北大学院の留学生による英語の発表、情報系の学生による数理モデルとヴァリエティに富みました。大きな学会だとどうしても自分の専門に近い内容を拾い聴きするということになりがちですが、談話会のようにこじんまりとした会では自分の知識から離れた内容の発表に接することができ、（年老いた身としては？）かえって新鮮に感じられました。飛び入りでの参加もあり、おかげ様で「うん、盛会だった、盛会だった」と未だに自己満足感に浸っております。

今回の当番幹事は福島県立医科大学細胞統合生理学講座（挟間 章博教授）をお願いするようになりました。（文責 東北医科薬科大学医学部神経科学教室 坂本 一寛）

地方会抄録はウェブページ <http://physiology.jp/nisseishi/> に掲載させていただくことになりました。（Pt 2）p. 25～p. 29 をご覧ください。